

フューチャー・デザインの理論深化 と森林資源管理分野への応用



キーワード 持続可能社会、自然資源利用、地域活性、分野横断型協働

淵上 ゆかり FUCHIGAMI Yukari

附属フューチャーイノベーションセンター／ビジネスエンジニアリング専攻 助教
産学官共創講座 フューチャー・デザイン領域 原研究室



フューチャー・デザイン研究

将来世代の利益も踏まえた持続可能な意思決定や行動を導くための
社会の「仕組み」のデザインと実践
→理論と実践¹⁾を両輪として研究開発

1) Hara et al. (2019) Sustainability Science, 14(6), 1605-1619 など

学術体系
新たなサイエンスの確立



リーダー育成
大学院授業
市民教育
公的機関職員教育
(ワークショップ)



学術
各研究分野への導入・共同
公共政策
政策デザイン
アセスメント作成

ここがポイント！【研究内容】

- 原圭史郎教授（阪大・工）らと共に、2012年に阪大で誕生した新たな学術領域である「フューチャー・デザイン」の理論深化および関連教育に取り組み、森林資源管理分野への応用を進めています。具体的には、西表島を中心とした地域におけるマングローブ利用の変遷把握と将来予測や、持続可能な林業のデザインから木質バイオマス燃料の普及シナリオ検討まで幅広く実施しています。
- そのほか、大学教員の専門分野を超えた分野横断型共同研究の仕組み解明を進めています。

応用分野

地域活性事業分野、森林・国立公園等管理、木質バイオマス分野、分野横断協同

論文・解説等

- [1] Y. Fuchigami et al., "Future Design: Incorporating Preferences of Future Generations for Sustainability" T. Saijo (ed.), (2020).
- [2] 淵上ゆかり・上須道徳 他, 島嶼研究, 21(1), 39-51 (2020).
- [3] 淵上ゆかり・杉田菜穂, 日本教育工学会論文誌, 44(4), 409-418 (2021).

連絡先 URL

<http://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/hara/index.html>

